

## 令和3年 群馬県柔道連盟各種大会に係る 感染防止ガイドライン

群馬県柔道連盟

### 参加選手ガイドライン

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に大会参加を見合わせる。
  - ア 体調がよくない場合（37.0度以上の発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。
  - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
  - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ② マスクを持参し、事前練習、及び競技中以外は着用を原則とする。
- ③ アルコール等による手指消毒、及びこまめな手洗い（マイタオルを持参）を実施する。
- ④ 大会会場内での可能な範囲で、相手との距離を確保する。（できるだけ2mを目安に、最低1m）
- ⑤ 自宅で検温をし、入館前に体温と健康状態を監督に伝える。
- ⑥ 入館時に、監督が選手、補助役員全員と監督自身を非接触型体温計で検温する。37.0度以上であった場合、接触型の体温計で再度検温する。37.0度以上であった場合、帰宅する。（体温計は連盟で用意する） 監督が37.0度以上の発熱がある場合は代理の監督に来てもらう。  
平熱が高い選手は、健康観察記録表等を持参する。
- ⑦ 受付で「健康状態申告書」（各所属でまとめたもの）を提出する。
- ⑧ 会話をする際はマスクを着用し、大きな声は出さない。声を出しての応援は禁止する（拍手は可）。
- ⑨ 各所属の集合時間に受付をし、大会会場に入場する。試合後は速やかに帰宅する。
- ⑩ 選手は試合会場入場時に下駄箱を使用しない。各自下足袋を持参する。
- ⑪ 試合会場での更衣は、各自が2m程度離れることを意識する。
- ⑫ 他人の荷物には触れないこと。
- ⑬ 熱中症防止のために飲料摂取を推奨するが、飲食物を手にする前に手洗い、手指消毒を行い、飲食は指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控える。  
→ゴミは必ず持ち帰る（武道館のゴミ箱は利用しない）
- ⑭ 感染防止のために県が定めた措置を遵守し、指示に必ず従う。
- ⑮ 大会中に発熱等の症状が出た場合、保護者等に迎えを依頼し、強化部長に連絡する。
- ⑯ 大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、監督を通して速やかに強化部長に連絡する。

### 大会役員ガイドライン

- ① 参加者が遵守すべき事項を明確にして協力を求める。また遵守できない参加者には、大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを事前に周知する。
- ② 提出された「健康状態申告書」を強化部長が回収し、1か月間保管する。
- ③ 参加者が300人以上の大会には、医療スタッフを常駐させる。  
→怪我人処置室とは別に体調不良者用の待機場所を設置する。
- ④ 会場入り口にアルコール等による消毒液を設置する。
- ⑤ 役員は、必ずマスクを着用する。
- ⑥ 手洗所・洗面所にはハンドソープ（ポンプ型）を設置する。
- ⑦ 「手洗いは30秒以上」と掲示する。
- ⑧ 複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブなど）は、こまめに消毒する。
- ⑨ 道場内は常時換気を徹底させる。
- ⑩ 役員同士は可能な限り距離を確保し、接触しないことを心掛ける。
- ⑪ 道場内が「三密」にならないよう、人数制限を設定する。試合直前の入場、試合終了後の速やかな帰宅を呼びかける。
- ⑫ 参加者のゴミの持ち帰りを徹底する。
- ⑬ 飲食は最低限にとどめ、指定場所以外では行わず、周囲との距離を取り会話は控える。